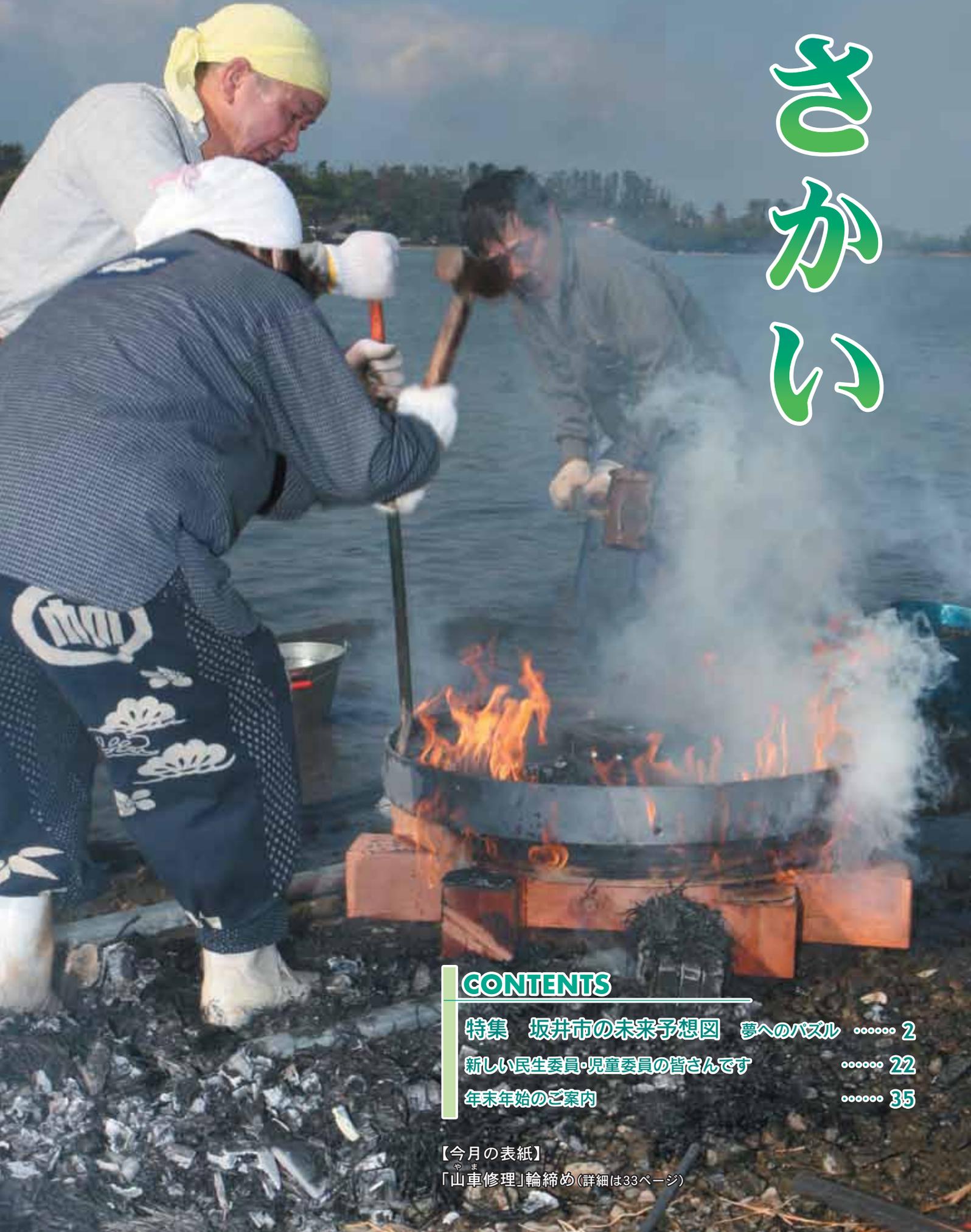


広 報

さ か い



CONTENTS

- 特集 坂井市の未来予想図 夢へのパズル 2
新しい民生委員・児童委員の皆さんです 22
年末年始のご案内 35

【今月の表紙】

「山車修理」輪締め(詳細は33ページ)

頑張る仲間思いを託したいあなたは「寄付」という形でまちづくりに参画を

例えば「こんな政策があったらいいのに」と思うことはありませんか。行政には手の届きにくい、でも、皆さんだけでもどうにもできない。そんな政策メニューを「皆さん自身が選んで、実現できる」という画期的な取り決めが、坂井市にはあります。

市民の声が生きるまちづくり

- とき いつでも
- ところ 市内全域
- 対象者 政策メニューに賛同する人なら誰でも。市外在住でもOK
- 特長 まちの政策を市民自らが決められる、全国でも珍しい事業です。「あればいいのに」という、行政だけではなかなかスムーズにいかない政策が、皆さんの寄付で実現していきます。



市民の政策決定を可能に

行政が市民に、特定の事業に対して寄付を募る。このような条例は他の自治体にも存在しますが、政策決定にまで市民の意思を取り入れたものは、全国でも類を見ません。市の財政状況が厳しい中、心豊かで安心して暮らせる社会の実現に向け、行政と市民が一緒になって考えていく、とても画期的なことなのです。

	人数	寄付金額
市内	24人	306万円
市外	71人	1,941万円
合計	95人	2,247万円

(22年11月30日現在)

新しい市政参画のカタチ

市民が誇りを持って、市政運営に参加を……。そんな思いのもと、20年3月に「寄附による市民参画条例」を制定しました。条例に基づき、市民の公募による3つの政策メニューと、地域協議会の提案による4つの政策メニューを選定。政策に賛同する人から寄付を募り、これまでに2千万円あまりが寄せられました。

7つの政策メニューと取り組み状況

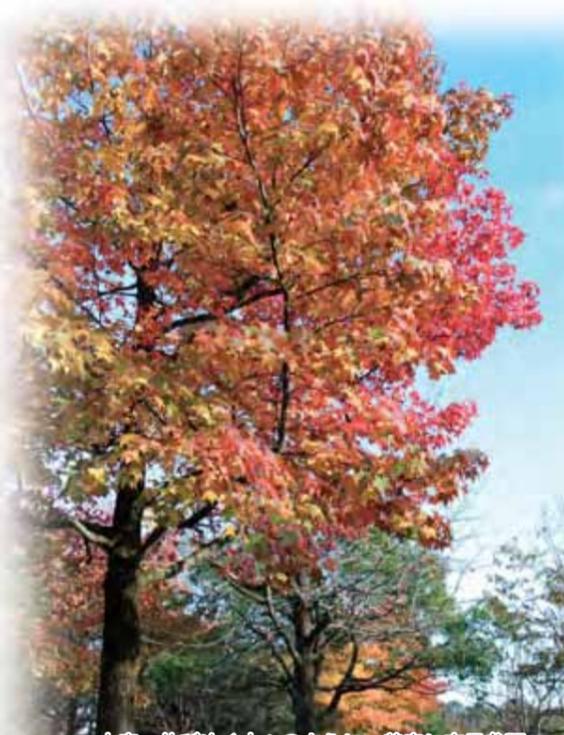
①	協働のまちづくりに関する事業	23年度実施予定
②	子どもの健全育成および教育に関する事業	取り組み中
③	環境対策に関する事業	取り組み中
④	三国地域自治区の特徴を生かす事業	23年度実施予定
⑤	丸岡地域自治区の特徴を生かす事業	23年度実施予定
⑥	春江地域自治区の特徴を生かす事業	事業化済み
⑦	坂井地域自治区の特徴を生かす事業	事業化済み

集まった思いで

すべての政策が実現へ

7つの政策メニューは、目標額に達したのから事業化実施中のものも含め、来年度中には当初の政策メニューが全て実現されます。皆さんの提案や寄付が、まちを元気にする大きな力に。「市民参画型」の社会は、少しずつ、着実に構築されつつあります。

それぞれのメニューについて、その取り組みや目的などを伺いました。次のページで紹介いたします。



夫空へ伸びゆく木々のように、着実に市民参画型社会は築かれている



まちの将来が気になるあなたへ

特集 坂井市の未来予想図

市民参画 一できることを できる人が できる形で



坂井市が誕生して5年。将来都市像として掲げられた「輝く未来へ：みんなで創る希望の都市」を実現するため、「協働」をテーマにまちづくりを進めてきました。皆さんの創意工夫が活かされるまちになるために。皆さんが主役となり、互いに手を取り合って歩むことで、市がよりよい方向へと発展していけるように。市では、皆さんの思いを反映できるような取り組みを行っています。みんなで創るまちのすばらしさ。一度、考えてみませんか。

「ともに歩んで協働のまちづくり」私たちの「市民参画」

うん?



Q. あなたはどのピース?

一言で「市民参画」といっても、実はいろんな方法があります。今回は、中でも最も身近な方法を3つご紹介します。その3つは、パズルの中に隠れています。できることから一つずつ。さあ、あなたが見つかるのは、どんな形のピースでしょうか。さっそく探してみましよう。

Approach 1

■きっとあなたは夢に投資できる人……p3
⇒「寄付」による市民参画のピースを
これだ！と思う事業に投資してみませんか。それがまちをにぎやかにするだけでなく、子どもたちの夢をはぐくむかも。そんな期待が膨らむピースです。

Approach 2

■きっとあなたは「体育祭」が好きな人…p6
⇒絆がつくる「まちづくり」のピースを
みんなで何かを作りあげる、人が喜ぶことを仕掛けていく—そんな活動に興味があるなら、ぜひこのピースを。まちづくりの主役は、そう、私たちなんです。

Approach 3

■きっとあなたは計画性のある人……p9
⇒ともに考える「行政改革」のピースを
自分や家族が笑顔で暮らせるよう、将来設計をきちんと立てるあなたはこのピースを探し出せるはず。まちも家族も、実は同じなんです。

皆さんから提案された政策が実現へ

この7つの政策メニューは、事業内容の提案も、それに必要な資金も、すべて皆さんから寄せられたもの。思いがカタチになります。

■ 実施済み ■ 実施中 ■ 23年度実施予定

春江地域自治区の特色を生かす事業 実施済み

ハートピアの桜並木ライトアップ
イメージアップで
まちに誇りを



春江自治区地域協議会
会長 松浦 信幸さん
(春江町石塚)

春江自治区を代表する施設、ハートピア春江の桜並木に今年3月、300個のボンボリを設置しました。ほのかな桃色の光が幽玄な雰囲気醸し、桜の時期には多くの人が見物に訪れてました。日中だけでなく、夜のハートピア春江のよさも認識していただけたのではないかと思います。

自治区内にはほかに、ゆりの里公園という大きな施設があります。次の政策メニューは、ゆりの里公園。この公園のよさをさらに引き立てられるようなものを考えています。多くの人を訪れるようにぎわいを創出することで、優れた施設を持つこのまちに地域住民がきつと誇りを持つことでしょう。



坂井地域自治区の特色を生かす事業 実施済み

かがしの展示場設置
「かがしのまちづくり」を
さらに深めて



坂井自治区地域協議会
会長 盛政 隆治さん
(坂井町東)

これまで「牛の交差点」や「鬼の交差点」が有名だった坂井自治区内に今年3月、新たにかがしの展示場を2棟設置しました。毎年夏の「かがしコンテスト」で入賞した作品を展示し、併せて交通安全標語を掲示。ドライバーの目を和ませ、安全運転の啓発にも役立っています。

道の駅や改修した丸岡駅舎内なども含め、展示数が増えたことで「坂井町といえばかがし」のイメージが深まったかと思えます。今後も、かがし制作を通して郷土愛や地域の絆を深めるとともに、通行人やドライバーに「坂井町内の道はおもしろい」と思ってもらえるような展示場を作ります。



丸岡地域自治区の特色を生かす事業 実施決定

古城まつりグレードアップ
寄付による
「まつり」の高まりを期待



丸岡自治区地域協議会
会長 宮越 幸夫さん
(丸岡町油為頭)

丸岡城下で毎年10月に、「丸岡古城まつり」が開かれます。そのにぎわいをさらに高めるため、これまでレンタルだったよろいやかぶと、子供大名行列の小道具などを購入します。



三国地域自治区の特色を生かす事業 実施決定

三国祭の保存伝承
伝統と誇りのともしびを
絶やさないために



三国自治区地域協議会
会長 古道 豊さん
(三国町油屋)

伝統ある三国祭には、3日間で延べ15万人が訪れます。山車や武者人形の制作技術の後継など課題はありますが、祭りがまちの誇りであり続けるために、山車の保存修理などを行います。



協働のまちづくりに関する事業 実施決定

地域で支えるための
防災備品設置
「空白の72時間」を
生き抜くために



総務部次長
山農 兼司

有事の際、行政が対応できるまでの間、地域で緊急の避難や救助活動が行えるよう、防災備品を設置します。また、災害時の被害を抑制するために自主防災組織の結成や育成を図ります。



子どもの健全育成および教育に関する事業 実施中

安全に地震時における児童生徒の安全確保
備品を固定
転倒防止で安全を



学校本体の耐震化に先立ち、地震に対する備えを行うことができ
て大変感謝しています。器具の設置を手伝うことで、自分たちの安全対策や防災に対する意識も高まりました。
(兵庫小PTA会長 寺澤友康さん)



この事業を提案した人の、子どもたちの安全への細かな気配りを実感しました。私たち教員も注意深く見ていかねればと、気が引き締まります。
(兵庫小教務主任 島田充寿先生)

市内全小学校に、今年7月家具固定用具やガラス飛散防止用フィルムを配布しました。万一地震が起きた場合、備品の落下や倒壊などによる被害を最小限にし、安全な避難路を確保するためのものです。

器具の取り付けやフィルム張りは、各学校ごとに実施。うち兵庫小学校では、夏休みなどに行う奉仕作業時に、PTAと協力して行っています。



環境対策に関する事業 実施中

「海ごみ川ごみプラットフォーム・さかい」
川ごみを減らして
海辺の環境保全に

市内には磯部川や兵庫川など多くの中小河川が流れ、そのほとんどが竹田川、九頭竜川に合流して日本海へと注いでいます。つまり、海は川ごみのほとんどを引き受けてしまっているということ。市内の海辺環境の保全を図るためには、流域全体を視野に入れた改善への取り組みが必要不可欠です。

そこで、中小河川の実態調査や流域地区とのワークショップ・清掃活動を、市の環境基本計画推進団体「エコネイチャー・さかい」と市が協働で取り組んでいきます。



環境に対する関心を行動に移して
九頭竜川や海をきれいに保つには、上流だけではなく、注ぎ込む中小河川からのごみも食い止めなければなりません。幸い、流域の皆さんの多くが「昔はホテルがいたのに」など、地元の水に関心を持っています。ワークショップや清掃活動を実施することで、環境への意識をさらに高め、一人一人が行動するきっかけを提供したいと考えています。



エコネイチャー・さかい
代表 阪本周一さん

今回の政策メニューの
選定に向けて

実施中の政策メニュー「環境対策に関する事業」「子どもの健全育成および教育に関する事業」については、すでに新たなメニューを皆さんから募集済みです。提案された政策メニューは、議会や地域協議会の代表者などで構成する「寄附市民参画基金検討委員会」で項目ごとに1つに決定されます。

11月24日(水)の委員会では、2つの政策メニューについて

それぞれ3点まで絞り込みが行われ、委員会は公開制で行われ、興味のある人は誰でも傍聴することができます。

今回の開催日
とき 12月24日(金)14時〜
ところ 市多目的研修集会施設

新たな政策メニューを募集

来年度に実施される「協働のまちづくりに関する事業」について、今回の政策メニューを募集します。募集方法は13ページをご覧ください。

政策提案は市民参画のチャンス 夢のある提案を

寄附市民参画基金
検討委員会
委員長 永井 純一



この条例の一番いいところは、市民が政策そのものを考えることができる点です。思いが政策となり、そこからさらに思いが重なって事業が実現できる。大変意義深いことです。

皆さんから提案された政策は、ニーズがあるという観点からすると本来ならば市が率先してやるべきものかもしれません。しかし、財政が厳しい今、優先順位をつけていった場合にどうしても後回しになりがちです。それが政策メニューとして取り上げられ、多くの人の賛同を得られれば、ずっと速いスピードで実現できます。さらに、行政として困難なものでも、皆さんの提案がもって実現することができるかもしれません。

決して皆さんに政策の提案を押し付けるものではありませんが、この条例は子どもから大人まで誰もが市政に参加できる、最も気軽な制度です。

行政では思いつかないような、皆さんの柔軟な発想を生かした夢のある政策提案を期待しています。

個性豊かな「まちづくり」が次々と

まちづくり協議会では、地域ごとに特色を生かした活動が進められています。ここでは、各協議会が取り組んでいるいくつかの例をご紹介します。

■わがまちエコ来店(みくに地区まちづくり協議会)

まちづくり協議会と地元の商店街が連携し、徒歩や自転車での来店した人や、マイバッグ持参の買い物客にポイントを支給。ポイントがたまると、市が運営するコミュニティバスの乗車券に換えられる仕組み。商店街の活性化とエコを促進できる事業です。

今年2月に東京で行われた「ストップ温暖化『一村一品』大作戦」に県代表で出場し、高く評価されました。

▶エコ来店の流れを寸劇で披露する同協議会生活環境部会のメンバー



■笑顔でエーコ運動(春江東部まちづくり協議会)

地元の春江東小学校と連携し、教室の窓にグリーンカーテンを設置。苗植えや生育の管理などを協力して行いました。グリーンカーテンの棚もエコにこだわり、県産材のスギや布の裁断くずなどを活用。地域から仕掛けることで、子どもからお年寄りまで、地球温暖化防止への意識が高まりました。この取り組みも、「ストップ温暖化『一村一品』大作戦」県予選で入賞するなど、市内外の注目を集めています。



▲地元の人の協力で、児童たちもエコ活動に前向き



■しだれ桜の里づくり(竹田の里づくり協議会)

たけくらべ広場や竹田川沿いを中心に、約100本のしだれ桜が植えられています。4月中旬から下旬にかけて、広場内のしだれ桜をライトアップ。山里に春を告げる花を一目見ようと、県内外から7万人が集まる観光地になりました。

8月に開園した「竹田水車メロディーパーク」内で地元の特産品などを販売する「たけだや」の運営にも協力するなど、のどかな自然を生かした観光地づくりに総力をあげています。



▲しだれ桜の時期にあわせて開催する「クラフトフェア」もすっかり恒例に



■「大関」つながりで交流(大関まちづくり協議会)

こちらは「おおせぎ」、新潟は「おおせぎ」。地元「大関小学校」があることが縁で、燕第一まちづくり協議会(新潟県燕市)との交流が始まりました。今年8月には、本市の大関小学校の児童でつくる少年野球チーム「大関ファイターズ」のメンバーらが燕市を訪問。燕市大関小学校の「大関イーグルス」などと対戦し、友好を深めました。



▲来年は、燕市の一行が本市を訪問予定

■キャラクターで地元に着愛着(東十郷まちづくり協議会)

協議会の設立時に、まちづくりのシンボルキャラクターが誕生。名前は地元にある東十郷小学校の児童から募集し、「ごうちん」に決まりました。さまざまな行事やまち協だよりに活用するだけでなく、JR丸岡駅の駅舎に「ごうちんギャラリー」を設けたり、車などに張るステッカーを作ったりと、常に住民の目に触れることで、自分の住む地域に愛着を持ってもらえるよう仕掛けています。



▲十郷用水伝説にちなんで、シカをモチーフにした「ごうちん」

■踊りで地域愛と健康を促進(磯部地区まちづくり協議会)

協議会で2年前に制作した『いそべ音頭』をさらに活用し、住民の一体感を育てています。協議会のメンバーで、これまでに「健康体操バージョン」と「ダンスバージョン」を考案。地域の行事のほか、学校などでも活用でき、若い人たちにも受け入れられています。手拍子や掛け声を入れることでリズム感が楽しめるだけでなく、振り付けも簡単で誰にでも踊れることから、健康増進にも一役買っています。

▶ポップな曲調のダンスバージョンは、子どもたちも楽しく踊れるもの



みんなで盛り上げて楽しみたいあなたは「まちづくり協議会」活動へ参画を

例えば体育祭みたいに、勝利という同じ目標に向かってチーム全員の気持ち一つにする。頑張っている仲間を、とことん応援する。そんな雰囲気は今、市内の各地域に生まれています。地域は、いわば一つのチーム。「まちづくり協議会」を中心に住民同士の気持ちが一つにまとまり、絆が生まれています。



市民が主役のまちづくり

- とき いつでも
- 対象者 子どもから年配の人まで坂井市に住む人なら誰でも
- 特長 合併以来、市で公民館単位ごとに「まちづくり協議会」の立ち上げを進めてきました。今では、市内に23の協議会が設立。それぞれの協議会で、市民活動の輪が広がってきています。
- ところ 自分の住む地域

今、あらためてまちづくり協議会とは

「私たちの住んでいる地域が、もっとよくなってほしい」というのは、市民みんなの願いです。

これまでの「まちづくり」は、道路や公共施設の建設などを意味していました。最近では、そこに住んでいる誰もが幸せと感ぜられる、理想の地域社会を築き上げていくことを指すようになってきました。

しかし、一言でまちづくりといっても、そのまち、その地域をよくするための要素はそれぞれ違います。

そこで、まちづくりのあり方は、行政主導の「二律平等」のものから、住民と行政が連携しながら地域の特性を生かしていくものと変わる必要があります。

皆さん一人一人が自分の地域に誇りを持って暮らせるよう、市では地区公民館ごとのまちづくりを進めています。そのまとも役として活動しているのが、まちづくり協議会です。

市内に設立されたまちづくり協議会

名称
1 みくに地区まちづくり協議会
2 雄鳥地区まちづくり協議会
3 加戸・公園台地区まちづくり協議会
4 新保地区まちづくり協議会
5 浜四郷地区まちづくり協議会
6 三国東部まちづくり協議会
7 三国木部まちづくり協議会
8 鳴鹿まちづくり協議会
9 磯部地区まちづくり協議会
10 たかむくのまちづくり協議会
11 たかとの郷づくり協議会
12 城のまちまちづくり協議会

まちづくり協議会は、地域住民自らが、地域の特性や課題を考え、「自己選択」と「自己決定」によって地域づくりを行うコミュニティ組織です。それぞれの地域で市民と行政の「協働のまちづくり」を推進する母体となり、地域ごとの特性を生かしたまちづくりが推進されています。



名称
13 のうねの郷づくり推進協議会
14 竹田の里づくり協議会
15 江留上まちづくり協議会
16 春江中部まちづくり協議会
17 春江西部地区まちづくり協議会
18 大石地区まちづくり協議会
19 春江東部地区まちづくり協議会
20 東十郷まちづくり協議会
21 大関まちづくり協議会
22 兵庫地区まちづくり協議会
23 坂井木部地区まちづくり協議会

市の将来を真剣に考えるあなたは「行政改革」に関心を

「行政改革って、市役所の中だけでやっていくものじゃないの?」「役所内のムダを省くだけだから、私たちには関係ない」——。「行政改革」という言葉からは、そう思われる人も少なくないかもしれません。でも、これから求められる行政改革は、公共施設を含めた各種サービスの見直し。行政だけでは決められない、皆さんの生活にも深く関わってくるものなのです。

ともに考えるまちづくり

- とき できるだけ早く
- 対象者 主に大人（子どもでも参加できます）
- 特長 ①市民満足度 100%②最小経費・最大効果の実現③市民との協働によるまちづくりを目標に、19年度から実施しています。

これまでの行政改革 功を奏するも、まだ道半ば

市は、19年に行政改革大綱を策定。大綱に基づき「100の改革」に着手し、ムダを省き、「できることから」「ビジョンを持つて」「生み出したお金は市民サービスの向上へ」。これらを目標に、これまでの行政の考え方や手法を改革してきました。

改革の効果 3年間で約25億円

組織の再編や人材の適正配置、市有地の売却による新たな財源確保など、費用対効果を高める改革に努めてきました。その結果、21年度末で「100の改革」のうちの40項目を達成。3年間で24億9600万円の財政効果を生み出すことができました。さらに今年度末までで約39億円を目標に改革を進めています。

改革から生まれた財源は、時代の変化における、新しいニーズに応える施策など、別

地方交付税の優遇措置 「合併算定替え」と「一本算定」

坂井市のような、いわゆる「平成の大合併」で誕生した市は、合併から10年間は元の市町村がそのまま存続したとして、地方交付税が合算して交付されます。（合併算定替え）

10年を超えると優遇措置分が5年間で段階的に減らされ、15年後には単独の市として計算した額が交付されます（一本算定）。

坂井市の場合、優遇措置の廃止に伴う交付税減少額は、年間10億円以上が見込まれます。

の形での「活きたお金」として活用しています。

内部改革の限度と求められる対応

3年間で行政内部のスリム化はおおむね達成し、多額の財政効果も生みだしました。ではなぜ、サービスの見直しに入っていかなければならないのでしょうか。

地方分権によって、市の権限が今までに比べて大きくなりつつあります。その一方、権限は拡大されるのに、すべてを抱えるだけの財政的余力はない。さらには、経済成長の鈍化に伴う税収減だけでなく、合併による地方交付税の優遇措置も5年後の27年から段階的に減らされ、さらに5年後の32年には終了するという状況です。

これから一層財政状況が厳しくなる中で、今あるサービスを維持していくため、そしてもっと充実させるために、サービスの性質に応じた提供の仕方や適正な負担などを見直していかなければならない時期にきているのです。

もうひとつ知って！ まちづくり協議会が活躍の場

市内23地区すべてにまちづくり協議会が発足して、2年。それぞれの地域で積極的に活動する中で、「地域のことにより分かった」「参加者同士が親密になった」などの声が聞かれる一方、「認知度がまだまだ低い」「参加する人が毎回決まっている」などの課題も見えてくるようになりました。

これからの発展に向けて、認知度と参加率の向上が求められています。

①初のまちづくり大会を開催

これまでの各まちづくり協議会の歩みを紹介し、活動の機運を一層高めようと、初めてのまちづくり大会「市民が主役！みんなで創るまちづくり大会」を、11月7日（日）にハートピア春江で開催しました。

各まちづくり協議会を代表して「東十郷まちづくり協議会」「磯部地区まちづくり協議会」「みくに地区まちづくり協議会」「春江中部まちづくり協議会」が活動を発表。大会を通じて、どの協議会も「今後も地道に活動を続けていく」と気持ちを新たにしていきました。



▲ロビーでは活動紹介パネルを展示
 ◀まちづくり協議会ごとにそれぞれの取り組みを紹介。会場には、ほかの地域の活動を参考にしようとして約600人が参加

▶手元に冊子が届いていない場合は、各総合支所地域振興課かまちづくり推進課まで。無料で配布しています



②冊子を各世帯に配布し活動をアピール

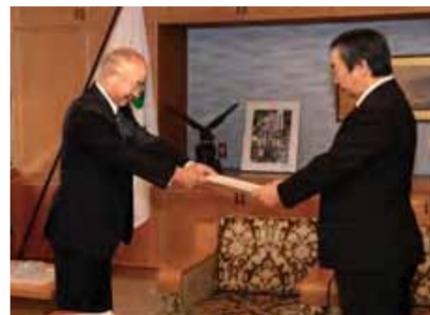
先月に「まちづくりガイド」を発行し、各世帯に1冊ずつ配布しました。A4判全50ページの冊子には、各まちづくり協議会のプロフィール、

「まちづくりの憲法」の制定に向けて準備中

皆さんが活躍できるまちづくりをより進めるため「まちづくり基本条例」を制定準備中です。この条例は、まちづくりに対する考えや推進のための基本的事項を定めたものです。条例に皆さんの意見を広く反映するため、各団体から推薦された人や一般公募による市民会議を設置し、21年7月から素案作りを進めてきました。

素案には、個性豊かで活力ある地域社会を実現していくための市民の権利や役割、市の責務など「まちづくりのルール」が明記されています。

今後、パブリックコメントなどを経て議会に諮り、早期の条例制定を目指してまいります。



▲素案は今年2月、市民会議から市長へ

まちづくり協議会では、地域の皆さんの事業への参加や団体への加入をお願いいたします。皆さん一人一人の地域への感謝の気持ちを、まちづくりに生かしましょう。

これからの行政改革「サービスのあり方」を考える

「公共施設」の見極めが課題

財政圧迫の大きな要因 膨れ上がった公共施設

健全な財政運営を継続していく上で、重荷となっているのが、公共施設を運営しているために必要な経費です。もともと旧町ごとに施設が充実していたため、合併により似たような目的を持つ公共施設が大幅に増加。結果、人口や産業構造が類似する市町村と比較した場合、人口9万人の規模には不釣り合いな施設数となっています(表1)。

今や市内の公共施設の総数は548で、年間約39億円もの多額の維持管理費が生じています。

老朽化する施設に 増大するコスト

公共施設のうち、建物を有する施設の数320施設613棟。その多くが昭和50年代から60年にかけて建

設されています(表2)。建築後30年が経って施設の老朽化が進む中、機能を維持するために今後ますます維持費が増加していくことは容易に想像できます。

また、立て替えや耐震化などの大規模改修が必要となった場合、さらに多額の費用が加算されます。

維持管理費用の7割を 税金で負担

一方で施設の収入は、利用者の使用料や手数料・材料費などの実費負担分、総額約10億7千万円。これは全体の約3割に過ぎません(表3)。

つまり、約7割分の27億円もの額を、市民全体の税金から工面している状況なのです。

公共施設のあり方を 見極めることが急務

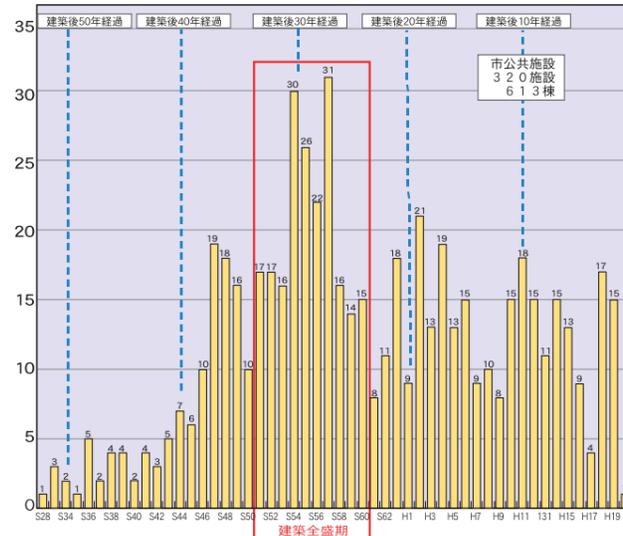
これからは、少子高齢化が

■表1 類似団体との施設数の比較

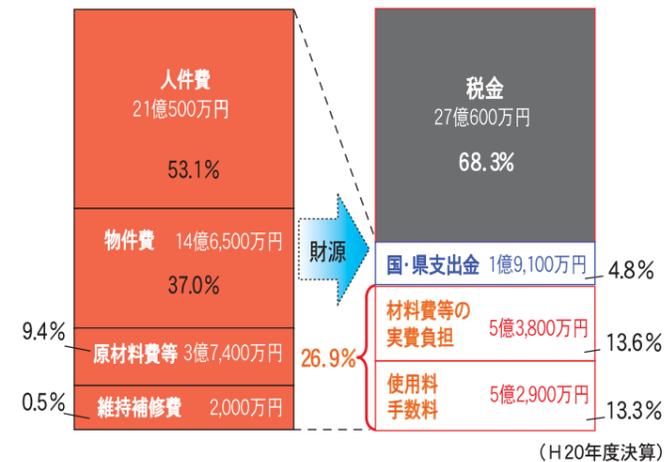
	施設数		比較
	坂井市	類似団体	
幼稚園	16	7.6	8.4
小学校	19	16.3	2.7
中学校	5	7.4	△2.4
保育所	22	8.4	13.6
老人施設	6	4.3	1.7
都市公園	276	62.2	213.8
体育館	9	4.5	4.5
陸上競技場	1	1.6	△0.6
野球場 (グラウンド含む)	8	3.3	4.7
市民プール	4	3.2	0.8
市営住宅(戸数)	681	727.2	△46.2

※類似団体の施設数は総務省公表データ(18年3月末現在)を使用

■表2 建築年からみた公共施設の設置数



■表3 公共施設維持していくために必要とする経費



(H20年度決算)

進み、人口や税収が減っていく時代。合併後の健全な財政運営を目指しながら、効率的に公共施設を運営していくためには、その必要性や妥当性の分析が必要です。

その上で、施設一つ一つについて、これからのどのように運営していくかを見極めていくことが求められてきます。

公共施設はサービスの拠点

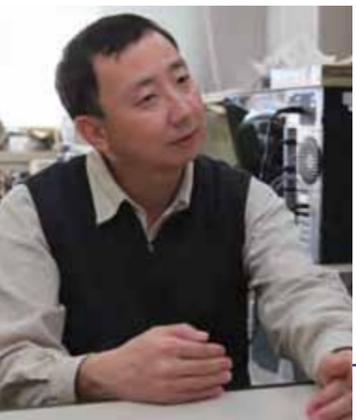
公共施設は市民の皆さんに必要な施設です。そのあり方は、行政が単に現在の利用者数や管理コストだけで決めるものではなく、皆さんがご存知の通り、市民と行政が共有することで、これまでよりも負担や不便の少ない方法が見いだせるはず

です。財政上の改善だけでなく、「まちの幸福度」の向上も、行政改革の重要な目的の一つなのです。

これからも充実したサービスを継続するためにも、公共施設のあり方を、皆さんにも考えていただく必要があります。

これからの行政改革こそが 市民にとってプラスに

市行政改革推進協議会
会長 廣瀬 弘毅
(福井県立大学経済学部准教授)



PROFILE
1966年、京都市生まれ。龍谷大学経済学部非常勤講師、放送大学助教授を経て、平成10年より現職。
市行政改革推進協議会会長のほか、県景気動向検討委員、県土地利用審査会委員なども務める。

公共施設のあり方を含め、これからの行政改革について市行政改革推進協議会の廣瀬会長は次のように話しています。

これまでの行政改革は組織のスリム化が主だったため、職員の努力により、特に大きな障壁もありませんまま順調に進めていくことができました。

4年目に入り、行政内部の改革にもそろそろ限界が見え始めてきています。これから市民の皆さんに、生活に直接関係する部分での取捨選択が求められます。

この段階での決断には、市民の皆さんに不便を伴う場合も考えられます。そのため、これまでのように行政だけで決められるものではなく、市民の皆さんとよく話し合いを行った上で進めていく必要が出てきます。

しかし、その時こそ本当の意味での市民参加のチャンスが生まれるとも言えます。こ

れまで一方通行だった行政サービスに、皆さんが参画していきけるようになるのです。

互いに納得した結論を導き出すために、市は情報発信を積極的に行うことが求められます。また、いきなり市民に意見や結論を求めるのではなく、状況をよく理解していただき、考える時間を与えなければなりません。

議論の場が増えることで、今後はこれまでのように順調には進まないかもしれません。しかし、議論の中で、ある公共施設について廃止の選択を迫られたとしても、施設の利害者だけでなく、市民全員が共通の問題として捉え、ともに考えることができれば、市の一体感もより深まるのではないのでしょうか。

互いの立場を理解し、同じ目線で意見を出し合い、納得した上で進めることができれば、魅力あるまちづくりという面においてもプラスとなるでしょう。

行政と市民の協働こそが、これからの坂井市に求められる行政改革なのです。

将来を見据えた 公共施設のあり方

公共施設に関する現状が、皆さんにはどのように映りましたか。

市の将来を見据える上で、施設の見直しは必須課題です。自分たちだけでなく、これからの将来を担う子どもたちのことも考えて、あり方を模索していかなければなりません。

具体的な方向性や改善策は、まだ白紙の状態。一人一人が現状を認識し、行政改革への参画意識を持つことで、よりよいあり方が導きだされるのではないのでしょうか。

今後、公共施設に関する市民アンケートの結果や勉強会などでの皆さんの意見を基に、公共施設のあり方を白書にまとめる予定です。

公共施設の見直しに関する取り組みの進捗は随時、紙面でお知らせしていきます。

これから私たちがすべきこと 将来に夢を抱いてアクションを起こすこと

明るい未来へピースをつなげよう

「いつまでもこのまちに住み続けたい」——そう思えるには、一人一人の夢が叶えられるまちでなければなりません。

3つのピース、「寄附による市民参画条例」「まちづくり協議会」「行政改革」。どれも、皆さんの夢を叶えられるチャンスをもったピースです。なくてもこの先暮らしていけるけれども、自分たちでまちを住みよくしていくために、これらのピースは手に取らなくてはならないものです。

その中で、私たちが地域の現状を真剣に見つめ、夢を叶えようと行動すれば、まちは輝く未来に向かって力強く前進し始めます。

これまでも、多くの人に参画してもらっている「夢へのパズル」の組み立て。少しずつ、完成に近づいています。

パズルが大きくなればなるほど、それだけ夢が叶えやすくなりますが、パズルの完成にはまだまだ多くの人の協力が必要です。

たくさんピースがつながり、参画の輪が広がっていけば、一人一人の描く夢も思ったとおりには叶えられていくでしょう。市民の数だけパズルが広がったときが「希望の都市」が実現されたときなのです。

——さあ、あなたはどのピースを選びます？



特集「坂井市の未来予想図 夢へのパズル」

【撮影協力】西端美佐子さん(坂井町上新庄)、安久由佳さん(坂井町上兵庫)、金森証さん(坂井町宮領)

パズルの作り方、教えます

新たな政策メニュー 募集中
提案をお待ちしています

提案できる人

- ・ 市民(個人)
- ・ 市内で活動する法人(NPO法人など)
- ・ 市内で活動するボランティアグループ

募集内容

「協働のまちづくりに関する事業」について、具体的な事業の名称とその内容を提案してください。※事業委託が望ましいと思われる場合は、次の内容を追記してください

- ・ 現状と課題、メニューの実施方法とまちづくりへの効果など
- ・ 実施に必要な経費
- ・ 実施を希望する時期

募集期間

1月11日(火)まで

提案方法

政策メニュー提案書を、郵送かFAX、またはメールで提出してください

政策に賛同する寄付をお待ちしています

寄付金額

一口5,000円から

寄付の方法

市に寄付申込書を提出してください。納付書を送付しますので、最寄りの金融機関、ゆうちょ銀行から納入してください。納入確認後、市から領収証明書を発送します。

寄付による税の軽減について

寄付をした金額が、個人住民税と所得税から差し引かれます(確定申告が必要)

※寄付金のうち5,000円を超える分、個人住民税所得額のおおむね1割が限度です

集まった寄付金が目標額に達しなかった場合は、その政策メニューが廃止になり、新たに選定された政策メニューに振り替えられる場合があります。提出・問い合わせ先

企画情報課 ☎50,301,3

☎66,483,7

✉kikaku@city.fukui-sakai.jp

※提案書・寄付申請書のダウンロード、電子申請は市ホームページから行えます

「まちづくり」のピースはこう合わせよう

まちづくり協議会への参加はとても簡単。各地区の公民館が、まちづくり協議会の窓口になっています。同じ地域の「仲間」として、いつでも迎え入れてくれます。「いきなり公民館には…」という人は、まちづくり協議会の行事に参加することから始めてみてはいかがでしょうか。年間を通して花植えや清掃活動、交流会など、皆さんに身近な活動を行っています。

参加していく中で、自分たちの地域を「もっと知りたい」「もっとよくしたい」と思うようになったときにチャンス。まちづくり協議会の中に入って、企画や立案など、どんどん積極的に関わっていきましょう。

地域の皆さんの参加をいつでもお待ちしております。

問 各地区公民館まで

「行政改革」のピースはこう合わせよう

今後改革を進めていく中で、皆さんからさまざまな意見をいただく機会が増えてきます。

その時にいただいた声が多ければ多いほど、皆さんにとってより有益なまちの方向性が示されます。市も皆さんと同じ目線に立ち、

いっただく声を大切に、貴重な判断材料として有効に活用していきます。

そのために、これからの行政改革に関心を持ってください。必要な情報は、広報紙やホームページで定期的にお知らせしていきます。

行政改革は、まち全体をよくしていくという取り組み。「知らない」「関係ない」ではなく、皆さんも積極的に参画していきましょう。

問 行政経営課 ☎50,301,6

「寄付」のピースはこう合わせよう



**先輩は誇れる現役パイロット
卒業生が母校で講演 11月12日(金)**

卒業生による特別授業「ようこそ先輩」が鳴鹿小学校で行われ、同校の平成6年度卒業生で全日空の現役パイロット、高柳裕一さんが児童144人を前に講演を行いました。高柳さんは仕事の内容などについて説明し、「夢を叶えるためには好奇心と一生懸命さが大切。皆さんも一生懸命になれるものを見つけて」と、後輩たちにエールを送っていました。



▶手振りを交え、旅客機の説明をする高柳さん



◀先輩の話真剣に聞く児童



▲身を取り出しては、甲羅にきれいに盛り付ける生徒たち

**「セイコガニ」食べて魚に関心を
食べ方指南で愛着アップ 11月11日(木)**

県は、地元の魚介類に関心をもってもらおうと、県内の中学3年生を対象に地元漁港で水揚げされたセイコガニを提供し、食べ方の講習を行っています。丸岡南中学校では、3年生134人が身のむき方を学んだ後、1匹ずつ出されたセイコガニを“実食”。慣れない作業に悪戦苦闘しながらも、上手にカニの身を取り出し、おいしそうにほおばっていました。



▲健康ウォーキング大会で晩秋の市内を歩く参加者



▲国民健康保険コーナーでは、健診の大切さをPR



▲ショウガが効いた「元氣もりもり汁」は食べると体がポカポカに

**健康づくりは楽しく気軽に
フェスタで秘訣を学ぶ 11月13日(土)**

健康づくりへの意識を高めようと、第4回さい健康フェスタを霞の郷で行いました。多くの家族連れらが訪れ、体を元気にする食材を使った汁物を試食したり、骨密度や体脂肪などを測ったりして、健康の秘訣を学びました。健康ウォーキング大会も同時開催。参加した約100人が、途中に設けたクイズも楽しみながら自分のペースで歩いていました。



▲7kmと3km、体力に合わせて参加

**ふるさとの緑を取り戻せ
先輩が植えた苗木を植栽 11月6日(土)**

市内の小学5・6年生で構成するわんぱく少年団が、市海浜自然公園でどんぐりを植栽しました。団員や保護者など約20人が参加し、どんぐりの苗木50本を植栽しました。苗木は、2年前に同少年団の先輩たちが植えたどんぐりの実が育ったもの。参加者は、



海側の斜面に30cmほどの穴を掘り、「大きく育つといいな」などと話しながら丁寧に植えていました。

◀1mほどに成長した苗木を植えていく参加者



▲海岸をくまなく清掃する参加者

**今年海岸をきれいに
坂井建連が清掃奉仕 11月6日(土)**

(社)坂井建設連合会は、三国町浜地の海岸で清掃活動を行いました。会員約60人が参加。空き缶や木の棒など、浜地から波松(あわら市)までの5kmの範囲に落ちているプラスチックごみを拾い集めました。3時間ほどの作業で、用意した200枚のごみ袋はいっぱいになりました。会員らは「釣りなどに訪れる人が気持ちよくしてもらえたら」と話していました。

**佐々木さんの防火ポスターが
最優秀賞に 11月6日(土)**

県内の小学生4~6年生を対象にした県防火ポスターコンクールで、応募作品7,576点の中から、佐々木大吾さん(兵庫小6年)の作品が最優秀賞に輝きました。防火の重要性を分かりやすく表現した点が評価され、鯖江市で行われた県消防大会の席上で表彰を受けました。佐々木さんの作品は秋季火災予防運動の啓発ポスターとして県下に配布・掲示され、火災予防の一翼を担います。



▶最優秀賞に選ばれた作品と佐々木さん



▲仲買人との値段の交渉で、威勢のいい競り人のかけ声が響き渡った初競り

**“赤い宝石”が続々と水揚げ
ズワイガニ漁が解禁に 11月6日(土)**

日本海の冬の味覚、ズワイガニ漁が解禁となりました。初日の漁を終え、三国港には新鮮なカニを積んだ漁船が次々と帰港。水揚げ後すぐに「越前がに」の証である黄色いタグが取り付けられていきました。カニはそのまま競りにかけられ、仲買人らで満ちた競り場は活気に溢れていました。なお、漁期は雌が1月10日、雄が3月20日まで。



第10回公演「忠臣蔵」 11月20日(土)
「豆役者」たちが難役を堂々と・21日(日)

まるおか子供歌舞伎が、磯部小学校旧体育館で行われました。第10回記念ということで公演を2日間昼夜3回に拡大。歌舞伎三大名作の一つ「仮名手本忠臣蔵」の演目に加え、歌舞伎を卒業した中学生が4人特別出演するなど例年以上に見応えが。市内外から訪れた延べ約2000人の観衆は、子どもたちの華やかな舞や舞台いっぱいに繰り広げられる迫真の演技に、盛んに拍手を送っていました。



▲表情豊かに繰り広げられた子供歌舞伎



▲歌舞伎に先立ち、華やかに長唄「君が代 松竹梅」が披露された舞踊

四季を通じた感謝祭を開催
第一弾は「秋の陣」 11月21日(日)

8月に竹田水車メロディーパーク内物販所「たけだや」がオープンしてから4カ月。これまでの来場客に感謝して、竹田水車運営協議会は収穫祭「秋の陣」を開催しました。同パーク内では旬の特産物の販売や地元の料理が提供され、竹田の味を求める多くの来場者でにぎわいました。同協議会の廣瀬哲夫会長は「今後も、季節ごとに竹田地区の特色を出した感謝祭を開催していきたい」と話していました。



▲つきたてのきな粉もちの振る舞いには、長蛇の列が
▶昨年6月の植樹祭が縁の「火の太鼓」も、初の収穫祭を演奏で祝福



▲物販所「たけだや」内に所狭しと並べられた旬の野菜



▲休校した学校のスペースを活用した、春江工業高校のバッテリーカー体験広場



誰でも一緒に楽しめる
ユニバーサルスポーツを知って 11月13日(土)

年齢や性別、障がいの有無に関係なく誰でも一緒に楽しめる「ユニバーサルスポーツ」を知ってもらおうと、県障害者スポーツ指導者協議会は丸岡体育館で交流会を開きました。市内外から約110人が参加。ストライク・マッチボーリングなど7種の競技を体験したり、車いすダンスの模範演技を見たりしながら、思い思いにスポーツを楽しんでいました。



▲ラテンなどテンポのいい曲にあわせてダンスを披露する
竹下輝政さん(右・春江町矢島)と村井美由貴さん(福井市)ペア

味・香りともに抜群の丸岡産そば
新そばまつりで舌鼓 11月20日(土)

丸岡そば振興協議会による「第11回そばの里丸岡新そばまつり」が霞の郷で行われました。おろしそば1500食やそばぜんざいが用意され、新そばを心待ちにしていたそばファンが行列をつくっていました。「そば粥」「そば団子汁」といった一風変わった料理も無料で振る舞われ、風味豊かで香り高い丸岡産のそばをいろいろな食べ方で堪能していました。



▲ソバの実がふんだんに入ったそば粥を求める来場者



◀「少しでもいいものを」。カニを手にとって品定め

大漁のズワイガニがお祭り価格
来場者で活気づく 11月13日(土)

カニのシーズン到来を告げる「三国温泉カニまつり」が三国サンセットビーチで行われました。テント市には魚商組合の6店が軒を連ね、所狭しと並べられたズワイガニを市価の2割ほど安い価格で販売。県内外からの買い物客がこぞ買って求めていました。また、ガサエビ鍋の無料振る舞いに長蛇の列ができるなど、会場は終始活気に満ちていました。



▲同団は、来年の3月16日(水)から25日(金)にかけて、ウェールズカーディフ市を訪問

英国訪問に向けて決意も新たな
派遣団が結団式 11月15日(月)

市国際交流英国派遣団(喜多正之団長)の結団式が市多目的研修集会施設で行われました。団長や市内5つの中学校の2年生など30人が出席。団員を代表して協谷観正さん(三国中学校)は「坂井市のよいところを伝え、英国のよいところを学んでいくために派遣までの5カ月間、仲間と協力して研修に努めていきたい」と誓いの言葉を述べていました。

心に響く音色を僕らの手で 春工生がチャイムを製作中 11月26日(金)

今夏、丸岡町山口に開園した「竹田水車メロディーパーク」の呼び物となる大型の“自動演奏チャイム”を、春江工業高校の生徒たちが製作中です。電気、情報システム、自動車、機械の全学科の3年生の半数と全教員合わせて約60人が、課題研究の一環として参画。図面作成から材料切断、選曲やプログラミング、取り付けまで、いろいろな場面で得意な能力や技術を発揮しています。

現在は、実物大の模型がほぼ完成する一方で、自動演奏の制御部分やハンマーなどの細かな部位を調整中。チャイムの製作を統括する同校電気科の中野正博先生は、「全学科の生徒と教員が心一つにして、技術の総力をあげて製作に打ち込んでいる。技術系の学校だからこそできること。高校生が情熱を傾けた“仕事”を、ぜひ見てほしい」と話しています。『たけだの響』と名付けられたチャイムが、竹田の山あいに深く柔らかい音色を響かせるのは、来春3月の予定です。



①



③



④



②



⑤



⑦



⑥



⑧

①模型の高さは2.7m。直径2.2mの半円柱の中に、音階が正確に調整された26本のチャイムが並ぶ ②チャイムの下部に設置される動物模型は、音に反応し、電磁石による反発力を利用して前後に動く仕組み。型の重心を考え、軸の位置を細かに調整中 ③自動演奏用に選んだ曲は、子どもからお年寄りまでなじみのあるもの。チャイムを叩くハンマーの動く順序を、根気よく一つ一つパソコンに入力し、信号化していく ④ハンマーの動作をプログラムした自動制御信号が、きちんと送り出されているかの確認も入念 ⑤真ちゅう製のチャイムを叩くハンマー部分も、26個を手作り ⑥穴をあけた帯状の紙を本体に通してハンドルを回すと優しい音色を奏でるオルガニート。メロディーパークを訪れた子どもたちが、気軽に自分だけの“曲づくり”を体験できるよう準備中 ⑦どの学科にも置かれている、イメージを共有するための『たけだの響』の模型 ⑧実際に取り付ける銘板の文字は、铸造で製作したもの

地方銀行が本市PRに一役 県外7支店で一斉に作品展 11月24日(水)

「一筆啓上賞」と「かまぼこ板の絵」のコラボ作品を絵柄にした越前織製品が、(株)福井銀行の県外7支店に展示されることになりました。市役所で行われた製品の引き渡しで、同行の伊東忠昭頭取は「特産品を紹介することで、県内最大の観光地である坂井市のPRをしたい」と話していました。石川県などの7つ支店のお客さまロビーに、21作品ずつが一斉に展示されます。



▲作品の特徴などについて、市長からの説明を熱心に聞く伊東頭取(中央)。各支店での展示は、11月29日から来年1月末まで

子育てにも男女の区別なし “イクメン”の魅力を学ぶ 11月27日(土)

市男女共同参画イベントがハートピア春江で行われました。絵本作家サトシンさんの講演では、参加した130人を前に、手のひらを絵本に見立てた親子遊び「おてて絵本」を紹介。また、自身の経験を交えながら「義務ではなく遊びや楽しみと思えば、やりがいもでてくる」とアドバイスするなど、男性の育児や家事の楽しさについて話していました。



▲参加者と一緒に「おてて絵本」を実演するサトシンさん(左)。手の中に浮かんだものから、独創的なストーリーを即興で展開



▲浅沼選手(左)と小野田選手(右)の表現力豊かな演技が観客を魅了

最 高峰の技で魅せた！ 多彩な体操の祭典 11月23日(火・祝)

丸岡体育館で「2010丸岡町体操祭」が行われました。2004年から毎年開催し、今年で6年目。市内の20団体が出場し、軽快な音楽に合わせ、多彩な演技が次々と披露されました。また、今回初めてゲスト選手が参加。東京女子体育大学の浅沼圭・小野田ゆず葉両選手によるトップレベルの新体操演技に、会場からは大きな拍手が沸き起こっていました。



▲箱に山積みされた“涙”と、一点一点丁寧に目を通していく住友グループ広報委員会のメンバー

4 0,424の“涙”が結集 第一次審査がもくもくと 11月25日(木)

「涙」をテーマに今年5月から募集していた第8回新一筆啓上賞。「新一筆啓上賞」としては第6回の「夢」に次いで多い40,424通の作品が寄せられました。3日間にわたり第一次審査が行われ、審査にあたった住友グループ広報委員会の松井俊文さんは「世代が違えば涙になるポイントも違う。丁寧に選考して光る“涙”を選べた」と話していました。

市民の皆さんの生活に直結する制度やイベントを紹介するコーナーです。

市議会11月臨時会

●問い合わせ 議会事務局 ☎50-3001

市

議会臨時会が11月25日(木)に開かれ、一般職や特別職(市長、副市長、議会議員)、教育長の給与の引き下げに関する3議案が提出され、同日可決されました。

▽市一般職の職員給与に
▽市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について

電

話で納税を呼びかける「坂井市納税コールセンター」を、納税課内に開設しています。



不審な電話にご注意！
センターは、市が委託した業者が運営しています。

『納税コールセンター』を開設中
市税の納付忘れ・納付遅れを電話で案内

●問い合わせ 納税課 ☎50-3024

発送後、納付確認の取れない人に、電話で納税の呼びかけを行っています。

電話案内ではきちんと名乗り、納付忘れの税の種類、期別、税額などを伝え、自主納付の呼びかけを行っています。

軽自動車などの廃車や変更は
4月1日までに手続きを！

●問い合わせ 課税課 ☎50-3023

軽

自動車などを廃車したり、他人に譲ったり、または住所に変更があった場合には、手続きが必要です。

登録事項に変更があった場合には、23年4月1日(金)までに、下記窓口で手続きをしてください。

Table with 2 columns: 種別 (Vehicle Type) and 窓口 (Office). Rows include: 原動機付自転車(125cc以下)、ミニカー、小型特殊自動車; 軽二輪車(126~250cc)、二輪の小型自動車(251cc~); 軽四輪車、軽三輪車.

告知、ナンバープレートの交付を受け、車両に取り付けてください。必要なもの: 新規(中古)購入の場合、印鑑、販売証明書、個人売買(譲渡)の場合、印鑑、譲渡証明書または廃車証明書。

長年の市民運動
優良実践者の皆さんです

●問い合わせ 生涯学習スポーツ課 ☎50-3162

市

市民運動貢献者の表彰が、まちづくり大会の席上で行われました。(関連8ページ)

民生委員・児童委員、主任児童委員の
退任者に感謝状

●問い合わせ 社会福祉課 ☎50-3041

民

民生委員・児童委員、主任児童委員の退任式が12月1日(水)、市多目的研修集会施設で行われました。

- 北岡法枝、大嶋正美、中田幸男(以上、三国町)
▼柴田秀子、岩崎ますみ、杉本雅邦、鍛田市朗、津田弘子、中嶋榮子、木本宏子、福岡保行、上村武雄、吉川美智子、林 挺子、大嶋 隆、前田國夫(以上、丸岡町)
▼成瀬峰子、小林恵子、西畑光廣、高村邦子、牧田洋子、六井光春、宮腰富子、坪田長兵衛、黒川ふさ子、佐藤早智子、高原裕法、長谷川敏、増田博子、柴原節子、松田誓也、尾山敏夫、宮崎勇雄、南部洋子、平田文夫、寺尾 稔、寺澤和枝(以上、春江町)
▼田中裕美、宮川厚子、五



▲市長から退任者に感謝状などを贈呈

トピックス

まちの話題をお届けします。

シプロ化成が寄付

11月9日

シプロ化成株式会社(三国町米納津)から市内5中学校に30万円ずつ、総額150万円の寄付がありました。18年から寄付を継続し、今年で5回目。



▲寄付を手渡す白石社長

あたたかい“心”に感謝

10月26日

春江総合支所福祉課へ、郵送で50,000円の寄付をいただきました。匿名で「福祉に役立てほしい」とのことでした。

三国総合支所福祉課へ、旧町時代から何年も、毎月中旬になると匿名で2,000円が届けられます。この浄財は福祉基金として有効活用させていただきます。

開催
event information

**人づくり・まちづくり講座
3回目は「女性と記録」**

庶民の記録は男性がほとんどで、女性が記録を残すことは多くはありませんでした。女性についての記録から歴史上の庶民の女性の生きざまを垣間見ます。

シリーズ最後の講座です。ぜひお申し込みを。受講は無料。

とき 1月15日(土)
13:30~15:00

ところ 春江中公民館

講師 敦賀短期大学
教授 多仁 照廣氏

定員 200人(先着)

申込方法 電話かファクス、メールで下記へ

市成人大学事務局(生涯学習スポーツ課)

☎50-3162 ☎66-2935

✉gakusyu@city.fukui-sakai.lg.jp

**一緒に感じませんか
子どもと暮らす幸せ**

「ありがとう、生まれてきてくれて」をテーマに、講演会を行います。歌や対話、絵本の中から子どもと暮らす幸せを再発見できる感動の2時間です。入場は無料。

とき 12月26日(日)
13:30~15:30

ところ いねす 交流ホール

講師 教諭 岩堀 美雪氏
パパジャングル代表
荒巻 仁氏

定員 100人

春江女性の家 ☎51-0829

**年末恒例！
ユリーム直売市感謝祭**

とき 12月25日(土)・26日(日)
9:00~16:00

ところ ユリーム春江

内容	
両日とも、ユリ球根配布(9:00~、先着100人)、新鮮野菜や正月用切り花・ユリ球根の販売があります。	
25日	11:00~ 振る舞い餅 13:00~ 迎春寄せ植え教室 (定員10人、1,500円)
26日	11:00~ 大鍋振る舞い (先着200人) 13:00~ お正月アレンジフラワー教室 (定員10人、1,500円)

ゆりの里公園 ☎58-0100

**ふくい合同企業説明会に
参加しませんか**

県内企業の採用計画など、最新情報をいち早く入手できます。参加は無料、申し込みは不要です。

とき 1月4日(火)
11:15~17:00

ところ サンドーム福井

内容 先輩就職ガイダンス、
合同企業説明会など

参加企業 170社(予定)

対象者 ・大学・短大・高専・
専修学校の学生(学年問わず)とその保護者
・大学関係者、Uターンを
考えている若年者(第二新卒者)

※県外での合同説明会も予定しています(名古屋、大阪、東京)。
詳しくは、ホームページでご確認ください

県産業労働部労働政策課
☎20-0390

✉rousei@pref.fukui.lg.jp

http://info.pref.fukui.jp/rousei/wakamononavi

働なら福井 | 検索

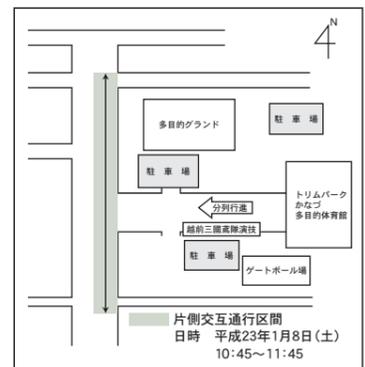
**消防出初式を
開催します**

分列行進や一斉放水、太鼓隊の演奏、越前三國隊による勇壮な演技などが披露されます。ぜひご覧ください。

とき 1月8日(土)
屋内式典9:30~10:45
屋外式典10:45~11:45

ところ トリムパークかなづ
体育館など

※当日は会場周辺の道路が一部
通行止めとなります



嶺北消防本部 ☎51-0119

**普通救命講習会を
受けませんか**

AED(自動体外式除細動器)の使用方法を含めた心肺蘇生法と止血法が学べます。

受講料は無料。修了証が交付されます。申込方法など詳細は、各消防署へ。

とき 12月26日(日)
9:00~12:00

ところ 嶺北芦原消防署
嶺北芦原消防署 ☎78-4119
✉awara@reihoku-fd.jp

とき 1月23日(日)
9:00~12:00

ところ 嶺北丸岡消防署
嶺北丸岡消防署 ☎66-0119

✉maruoka@reihoku-fd.jp

リサイクル
recycle information

ダブルベッド、学習机、エレクトーン、坂中の男子学生服(L)、電子オルガン、ベビーベッド、高齢者用手押し車、エアコン(20畳用)、むしろ、ノートパソコン、14インチのアナログテレビ

ミニ耕運機、CDやレコード(レコード盤なら何でもよい)、電気蓄音機(蓄音機とラジオが兼用になっているもの)、ぜんまい式蓄音機、ミシン、戦前の木綿ふとん地やふろしき、麻のカヤ、古い着物(綿、絹、麻、小布可)、トースター、冷蔵庫(中)、マレットゴルフのスティック、春江東小冬体操服(120cm)、男子用自転車(3、4歳用)、ベビーフェンス(戸口ガード)、天体望遠鏡、子供用自転車(4、5歳用)、ジュニアシート、電子レンジ

申込方法 電話で下記まで
※無償の品物のみ取り扱います
※掲載期間は3カ月(自動継続はしません)

※品物の細かい指定はできません
※掲載品は掲載者が保管

市民生活課 ☎50-3030

イベント情報

となりまちのおでかけ情報

■あわら市

◇新春舞踊◇

新年が良い年になるように願いを込めて、芦原芸妓がおめでたい踊りを披露します。

とき 1月1日(土)13:30~

ところ セントピアあわら



芦原温泉芸妓協同組合 ☎78-7211

■加賀市

◇新春！舞初め鑑賞会◇

若手芸妓による和太鼓新曲「獅子おろし」を初披露します。円熟の芸と華やかな舞をお楽しみください。

とき 1月2日(日)13:00~

ところ 山中座ホール
(山中温泉 菊の湯横)

入場料 当日1,500円

山中座 ☎0761-78-5523

◇新酒の酒蔵を訪ねる◇

北陸街道の宿場町として栄えた加賀市動橋町の酒蔵を訪ねます。

とき 1月15日(土)・22日(土)・
29日(土)

8:40 J R 動橋駅集合

参加費 1,000円

定員 各回10人(先着)

開催日の2日前までに、下記へ電話で申し込んでください。

KAGA旅・まちネット

☎0761-72-6678

◇ガンの飛び立ちを見よう◇

早朝の鴨池から約2,000羽のマガンが一斉に飛び立つ様子は迫力満点。レンジャーの解説を聞きながら観察してみませんか。

とき 1月16日(日)、23日(日)
6:30~約1時間

ところ 鴨池観察館
(加賀市片野町)

入館料 310円

※高校生以下は無料

持ち物 双眼鏡、暖かい服装
※申込は不要です。当日、直接、観察館へお越しください

鴨池観察館 ☎0761-72-2200

**食卓に
もう一品！ 食生活改善推進員の
かんたん料理レシピ**

カブの味噌シチュー

三国地区食生活改善推進員

栄養成分/1人分	
エネルギー	219kcal
タンパク質	8.2g
脂質	10.2g
塩分	2.5g

材料/4人分	
コカブ	2個
タマネギ	1個
ジャガイモ	1個
シメジ	1パック
エリンギ	2本
ニンジン	1/3本
鶏もも肉	50g
バター	大さじ2
小麦粉	大さじ2
A 牛乳	2カップ
水	2カップ
固形コンソメ	2個
白味噌	大さじ2
塩・コショウ	適量

作り方

- カブの葉をゆでて3cmに切っておく。
- 野菜・キノコ・鶏肉は食べやすい大きさに切る。
- 鍋にバターを入れて熱し、②を炒める。
- 火を止めて小麦粉を振り入れ、材料にからませる。
- Aを入れて弱火で煮込み、やわらかくなったら、味噌・①を入れて一煮立ちさせ、塩・コショウで味を調える。

冬野菜をおいしくいただきましょう

寒い冬に体を温めてくれる働きがある冬野菜。野菜に含まれる栄養素には水溶性のものがあるので、スープは“賢い調理法”といえます。温かいスープは体をポカポカにしてくれるだけでなく、野菜から溶け出した栄養素もしっかり取り入れることができるので、冬にはお薦めのメニューです。

健康長寿課 ☎50-3040

お知らせ

information

ご利用ください つどいの広場

つどいの広場は、幼児を持つ親子同士が気軽に集い、交流し、育児相談などを行う場所です。利用は無料です。気軽にお越しください。

モミジアンビノサロン	場所	もみじ保育園 (丸岡町板倉45-9) ☎67-6760
	利用日時	月～金曜日 9:00～16:00 土曜日8:00～13:00 ※祝日、お盆、年末年始は休み
	対象	0～5歳程度の子どもとその保護者
ハーツきつずはるえ	場所	ハーツはるえ (春江町随応寺25-1) ☎0120-453-415
	利用日時	月・水～日曜日10:00～16:00 (金曜日のみ12:00～17:00) ※火・金曜日の午前中、祝日、お盆・年末年始は休み
	対象	3歳程度の子どもとその保護者

☎児童家庭課☎50-3042

1月10日は「110番の日」

「緊急時 あなたを守る110番」相談は「安心ダイヤル#9110」です。目的に合った電話番号をお使いください。

また、要望や問い合わせは、下記の番号をご使用ください。

☎坂井警察署☎66-0110

☎坂井西警察署☎82-0110

YONETSU-KANささおか 臨時休館のお知らせ

清掃センター電気計装設備更新工事のため、清掃センターから高温水の供給ができなくなりますので、次の期間を臨時休館します。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解をお願いします。

休館 1月17日(月)～2月1日(火)

☎YONETSU-KANささおか☎74-2221
福井坂井地区広域市町村圏事務組合清掃センター☎74-1314

税に関する 中学生の作品を展示

坂井市とあわら市の中学生の入賞作品を展示します。

とき 12月15日(水)～21日(火)
ところ JR丸岡駅内「ごうちんホール」

☎三国税務署☎81-3211

特定最低賃金が 改正されます

県内の特定最低賃金が改定されます。12月24日から適用になります。

紡績業、化学繊維、織物、染色整理業	717円
繊維機械、金属加工機械製造業	784円
電気機械器具製造業	745円
各種商品小売業	747円

☎福井労働局労働基準部賃金室☎22-2691

職場のトラブル 解決をお手伝いします

職場のトラブルで悩んでいませんか。まずは気軽にご相談ください。

内容	解雇、雇い止め、退職勧奨、懲戒、退職、配置転換、出向、人事考課、労働条件の引き下げ、募集・採用、男女均等取り扱い、セクハラ、パート均衡待遇、いじめ・嫌がらせ、損害賠償など	
窓口	①福井労働局総合労働相談コーナー	☎22-3363
	②福井労働局雇用均等室	☎22-3947
	③福井総合労働相談コーナー	☎54-6167

①②は女性相談員、①はポルトガル語通訳が対応できます。

☎福井労働局☎22-0221

大人だって 歯科健診を受けましょう

- 口臭が気になる
- 歯がしみる
- 歯が動く
- 歯ぐきから血がでる
- 歯の間にもものがつまる

一つでも当てはまる人は、歯周病かもしれません。虫歯や歯周病は、体の病気の原因になることがあります。そうなる前に、歯科医院で定期的に歯科健診を受けましょう。受診方法および受診できる歯科医院は下記ホームページで。

☎県健康増進課☎20-0352
☎<http://www.pref.fukui.lg.jp/>

☎福井県 おとなの歯科検診 | 検索

対象は、20歳以上の人または妊産婦です。電話で歯科医院に予約し、受診してください。

☎福井県歯科医師会☎21-5511

募集

invite information

『脱・メタボ!』で 健康な体をGETしよう

坂井体育館の特別企画第2弾です。正月明けで体が重く感じるこの時期に、皆さんと一緒に汗を流しませんか。

とき 1月12日(水)～3月2日(水)全8回
①午前の部10:00～11:00
②午後の部18:10～19:00

ところ 坂井体育館
定員 ①30人 ②50人
受講料 1回 600円

8回4,000円(払い戻し不可)
準備物 内履き、運動できる暖かい服装、飲み物

申込方法 12月20日(月)以降に下記へ

☎坂井体育館☎68-0123

冬の健康体操教室 受講者を募集

一緒に体を動かして、冬を元気に乗り越えましょう。

とき 1月11日(火)～3月29日(火)全12回
10:00～11:00

ところ 三国体育館
内容 誰でもできる簡単な体操、ウォーキングなど

対象者 50歳以上の男女
定員 20人
受講料 6回3,000円 ※初回(1/11)と7回目(2/22)に集金

準備物 内履き、運動できる服装、タオル、飲み物、着替え

申込方法 12月16日(木)以降に下記へ

※平日の9:00～17:00

☎三国体育館☎82-4686

23年度 県立盲学校 幼児・生徒を募集

学 科 ・ 幼児部 (満3歳から5歳まで)
・ 高等部本科普通科・本科保健医療科 (中学校卒業または卒業見込みの人)
・ 専攻科理療科 (高校卒業または卒業見込みの人)

資 格 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の人。視力以外の視機能障害が高度な人のうち、拡大鏡などを使用しても通常の文字や図形を認識することができない、または困難な人

出願期間 1月17日(月)～31日(月) 9:00～16:00

※土・日曜日を除く

選考日 2月14日(月)

☎福井県立盲学校☎54-5280

ファミリースキー教室に 参加しませんか

とき 2月5日(土)～6日(日)
ところ 六呂師高原スキー場など
対 象 小学校3年生以上の児童生徒と保護者

内容	①グループ別研修(各自の技能に応じて児童生徒と保護者が別々に練習) ②交流研修(児童生徒と保護者が一緒に練習)
----	--

定員 120人
参加費 3,000円(リフト代は別途必要)

申込方法 12月11日(土)～23年1月9日(日)に下記へ

☎県立奥越高原青少年自然の家☎0779-67-1321

陸上自衛隊 高等工科学校生徒を募集

資 格 15歳以上17歳未満の男子(23年4月1日現在)

1次試験 1月22日(土)

待 遇 ・ 生徒手当として月額94,900円を支給
・ 宿舍は無料
・ 食事、制服類、寝具は支給または貸与

募集期限 1月7日(金)
学校推薦の制度もあります。

詳しくは下記へ。
☎自衛隊福井募集案内所☎24-3702

開催

event information

ふくいジョブカフェ 無料キャリア相談

就職に関する相談を受け付けるほか、職業適性診断や就職に役立つ情報提供も行います。

とき 1月20日(木) 13:00～16:00

ところ 春江中小企業センター
申込方法 1月17日(月)までに下記へ申し込み

☎商工課☎50-3153☎68-0440
☎syoukou@city.fukui.sakai.lg.jp

来月もセルフフェアに お越しください

障がいのある人が県内の施設で作ったパンや焼き菓子、縫製品などを販売します。

とき 1月21日(金) 11:00～14:00

ところ 三国総合支所1階ロビー

☎社会福祉課☎50-3041

お知らせ

information

12/11(土)～12/20(月)
年末の交通安全県民運動

市では、県や警察・関係団体などと連携して「年末の交通安全県民運動」を展開します。

交差点 目配り 気配り 思いやり
「たかが一杯」軽い思いが 重い罪

市内では先月末までに、交通事故で5人が死亡しています。

市内で起きた交通死亡事故は、ほとんどが市民同士の事故。少しの注意さえあれば、悲惨な事態はさけられたかもしれません。

年末年始は、降雪による天候不順、飲酒の機会が増えるなど、交通事故が起きやすくなります。

運転者は早めに上向きのライト点灯を、歩行者は反射材などを活用した目立つ服装を心掛けるなど、お互いに交通事故防止に努めましょう。

☎総務課安全対策室 ☎50-3525

23年度償却資産を
申告してください

償却資産(土地、家屋以外の事業用資産)を所有する法人または個人事業者は、23年1月1日現在の所有状況を市に申告してください。申告された資産は、土地・家屋と合わせて、固定資産税として課税されます。

種別	償却資産の種類	構築物、機械および装置、船舶、航空機、車両および運搬具、工具・器具および備品
申告内容	【前年度に申告している場合】 22年1月2日から23年1月1日までの間の増減資産を申告 【新規に申告する場合】 23年1月1日現在で所有の全資産を申告	
提出先	1月31日(月)までに下記または各総合支所税務課へ提出してください。	

※郵送で提出する場合は、早めにお願ひします

☎課税課 ☎50-3023

〒919-0592 坂井町下新庄1-1

建物を壊したら届け出を！

22年中に家屋またはその一部を取り壊した場合には、「家屋滅失届」を提出してください。届け出により、翌年度からの固定資産税は課税されません。

また、店舗を住宅に変えたなど、家屋の用途変更を行った場合にも下記までご連絡ください。

提出先 課税課または各総合支所税務課

☎課税課 ☎50-3023

製造事業所の皆さん
工業統計調査にご協力を

平成22年工業統計調査を、12月31日現在で行います。12月から来年1月にかけて、調査員が調査票の記入依頼と回収に伺います。調査票に記入していただいた内容は、統計法に基づき秘密が厳守されます。正確な記入をお願いします。

※調査員は必ず調査員証を携帯しています

☎企画情報課 ☎50-3013

「ふくいWARM運動」
エコで温かい冬を

市では、地球温暖化防止のため、県が推進する「ふくいWARM運動」に賛同し、過度な暖房を控えた冬のライフスタイルの実践を呼び掛けています。

期間 12月1日～3月31日

ふくいWARM運動	Wear(服装の工夫)	重ね着や保温性の高い肌着を着用する など
	Athletic(運動の工夫)	マッサージや階段を利用して血行を促進する など
	Room(室内の工夫)	床まで届く厚手のカーテンを使って室内を保温する など
	Meal(食事の工夫)	根菜や香味野菜の摂取で新陳代謝を促進する など

暖房の設定温度は20℃に。省エネで温かい冬を。

☎環境推進課 ☎50-3032

冬の道路
ルールやマナーを守って

- ①路上駐車は、除雪作業の妨げになるので絶対にやめましょう
- ②木が積雪で道路上に倒れないよう、積雪前に伐採や補強などの処置をしてください
- ③車に積もった雪は、取り除いてから運転しましょう
- ④バス停や防火水槽、ごみ集積所付近の除排雪にご協力を
- ⑤除雪作業中、意図せず玄関先へ雪の塊が入ることがあります。その場合は、再度各自で除雪をお願いします

雪みち情報ネットふくい

パソコン <http://info.pref.fukui.jp/hozen/yuki/>
携帯端末 <http://info.pref.fukui.jp/hozen/yuki/k/>
携帯サイトへはこちら⇒ 

☎建設課 ☎50-3051

油流出による
水質事故をなくしましょう

河川への油の流出事故が多発しています。河川が汚染されると、魚をはじめとする水生生物に影響を及ぼすほか、農業や工業、水道など河川を利用するたくさんの方に迷惑がかかります。

水質事故防止のため、次のことに注意してください。

- ・油を側溝、水路、河川に捨てない
- ・燃料の給油中はその場を離れない
- ・燃料機器や配管などの点検を定期的に行う

万が一油が側溝や水路に流出した場合、速やかに関係機関にご連絡ください。

※油が流出した際の回収、処理作業にかかる多額の費用は、原因者の負担となります

☎環境推進課 ☎50-3032

坂井健康福祉センター ☎73-0601

三国土木事務所 ☎82-1111

またはお近くの消防署、警察署まで

農業委員会委員
選挙人名簿への登載申請を

農業委員会委員選挙の選挙権を有する人は、23年1月1日現在の状況で登載申請書の記載内容を確認し、申請してください。

期限 1月7日(金)

申請先 市農業委員会事務局

選挙権を有する人	市内に住所があり、満20歳以上(平成3年4月1日以前に生まれた人)で、次のいずれかの要件に該当する人
①	1,000㎡以上の農地を耕作する人
②	①の同居の親族かその配偶者で、年間おおむね60日以上耕作に従事している人
③	1,000㎡以上の農地を耕作する農業生産法人の組合員、社員または株主で、年間おおむね60日以上従事している人

☎市農業委員会事務局 ☎50-3151

市選挙管理委員会 ☎50-3015

冬の寒さから
水道管を守ろう

気温がマイナス4度以下になると、防寒の不十分な水道管は凍りやすくなります。

水道管が凍ると水が出なくなるばかりでなく、破裂する恐れがあります。

水道メーター以降の宅地内設備の修理は自己負担になります。凍結が予想される場合は、早めの凍結予防に努めましょう。

■凍りやすいところ

- ・家の北側などで日光の当たらない場所にある水道管
- ・風当たりの強い場所にある水道管
- ・屋外でむき出しになっている水道管

■予防方法

水道管のまわりに保温材を巻きつけ、その上からビニールテープなどですき間なく巻いてください(保温材は市販のものや古い毛布や布切れなど)

■水道管が凍結した場合は

蛇口を開け、凍った箇所にはタオルなどをかぶせてその上からゆっくりとぬるま湯をかけてください。急に熱湯をかけると水道管が破裂したり、ひび割れを起こす恐れがあります。

■水道管が破裂した場合は

給水装置内(メーターボックス)にあるバルブを閉め、破裂した箇所に布やタオルを巻きつけ応急処置をしてください。その後、市指定給水装置工事業者へ連絡してください。また、破裂に備えるために給水装置の上は除雪しておきましょう。

☎総務経理課 ☎51-9100

3月分の
体育施設利用抽選会

古城ドーム
3月分抽選会
とき 1月11日(火)
※詳しい時間は右表

利用時間	対象施設名	参加資格者	抽選時間	抽選会場
日中 (19:00までの利用)	古城ドーム	登録団体 賛助会員	18:00～	丸岡体育館 ☎66-8920
夜間 (19:00からの利用)			19:30～	

※9月に行った、三国・丸岡(古城ドーム抽選会を除く)・春江・坂井町内体育施設11月～3月分日中・夜間抽選会に参加した団体は、今回の日中・夜間抽選会には参加できません
※9月第2火曜日に三国・丸岡(古城ドームを除く)・春江・坂井町内体育施設の11月～3月分の抽選会は終了しました。施設利用の申し込みは一般予約をお願いします

3月分の一般予約

2月1日(火)9:00から受け付けを開始します。
※一般予約は次月分の予約のみ受け付けます

一般予約の受付場所および施設の問い合わせ先			そのほかの問い合わせ先
三国町内体育施設	全施設	三国体育館 ☎82-4686	(財)坂井市体育協会事務局 ☎68-0123
春江町内体育施設	全施設	春江体育館 ☎51-4242	
坂井町内体育施設	全施設	坂井体育館 ☎68-0123	
丸岡町内体育施設	丸岡運動公園内施設	古城ドーム ☎68-0390	
	今福体育館・武道館・丸岡中学校ナイター	今福体育館 ☎66-4500	
	丸岡スポーツランド内施設	丸岡スポーツランド ☎67-4040	
	その他の施設	丸岡体育館 ☎66-8920	



秋から冬にかけて急増!
 ノロウイルス感染に気を付けて

ノロウイルスは非常に強い感染力をもち、冬場に急増します。子どもや高齢者、抵抗力の弱っている人などは重症化する危険性もあるので要注意です。

◎ノロウイルスの特徴
 潜伏期間は1~2日。嘔吐、下痢、腹痛などの症状があります。何度でも感染します。

- ◎感染の原因はいろいろ
- ①人から食べ物を通しての感染
ノロウイルスのついた手で調理された食品を食べた
 - ②食品からの感染
二枚貝などウイルスに汚染された食品を、生のままや十分加熱せずに食べた
 - ③人から人への感染
感染した人の便や嘔吐物が人の手につき、それが口に入った

- ◎感染を防ぐ方法
- ①こまめに手洗いを
調理の前、食事の前、トイレの後、便や嘔吐物を片付けた後、オムツ交換後、外からの帰宅後などは必ず手を洗いましょう。
 - ②食品の加熱は十分に
食品は中心部温度が85度以上・1分以上加熱しましょう。食中毒の原因となっている二枚貝もしっかり火を通します。
 - ③感染を広げない
感染者の便や嘔吐物には大量のノロウイルスが含まれています。わずかな量でも体内に入ると感染するので、処理する際には使い捨てのマスクや手袋を使いましょう。処理した後は、汚れた場所や物品を消毒液で消毒しましょう。

- ◎消毒液を活用しよう
- おもちゃや調理器具など、直接手で触れるものを消毒するとき
20のペットボトルに、家庭用塩素系漂白剤をペットボトルキャップ2杯分(10ml)入れます。全体が20になるように水を加えて、ふたをしてよく振り混ぜます。
- 便や嘔吐物が付着した床、衣類、トイレなどを消毒するとき
500mlのペットボトルに、家庭用塩素系漂白剤をペットボトルキャップ2杯分(10ml)入れます。全体が500mlになるように水を加え、ふたをしてよく振り混ぜます。
- ※消毒液を使用するとき、換気を十分に行ってください
- ※消毒液の取り扱いには、十分注意しましょう

新着&オススメ図書

※4館どこでも借りられますので、お問い合わせください。

一般書

負け組が勝つ時代 布施克彦 著
 親鸞と道元 五木寛之・立松和 著
 世界を救う7人の日本人 池上彰 編
 文化人とは何か? 南後由和 編
 老いの才覚 曾野綾子 著
 「若く見える人」の50の習慣 森吉巨 著
 赤木 智子の生活道具店 赤木 智子 著
 私と猫 『猫びより』編集部 編
 橘花抄 葉室麟 著
 若様組まいる 島中恵 著
 喜嶋先生の静かな世界 森博嗣 著
 幻視時代 西澤保彦 著
 沈黙の檻 堂場瞬一 著
 マボロシの鳥 太田光 著
 田舎の紳士服店のモデルの妻 宮下奈都 著
 再びの海 澤田ふじ子 著
 わたしの和探し手帖 岸本葉子 著
 江 波瀾と愛憎の生涯 中島道子 著

児童書

おかのうえのギリスマンロー・リーフ
 クリスマスのちいさなおくりもの アリスン・アトリー
 エルマーとサンタさん デビッド・マッキー
 ロボットとの付き合い方、教えます。 瀬名 秀明
 葉っぱで調べる身近な樹木 濱野 周泰
 13歳のシーズン あさの あつこ
 クイックと魔法のスティック エミリー・ロッド

教えて!! ライブラリー
 ~システム統合編 その1~

- Q 今までのカードは使えますか?
- A いいえ。
4館で使える新しい共通カードが必要です。貸し出し状況や返却日が記載されるカードです。カードは、図書館でお作りください。その際はなるべく旧カードをお持ちください。住基カードでも借りられますよ。
- Q 本は何冊まで、どれくらいの期間借りられますか?
- A 本や雑誌は10冊まで、CDやビデオは4点までです。
借りられる期間は、2週間です。
- Q 休館日はわかりますか?
- A はい。
月曜日(祝日の場合は翌日)
第1木曜日(祝日の場合は翌週)です。

お知らせ

みんなの本棚

みんなの本棚

定期イベント

EVENT

みんな集まれ!おはなし会
 4館とも、土曜の11時からです。
 8日・15日・22日・29日(まるおか図書館のみ)
 ※詳しくは各図書館まで

定期イベント

健康カレンダー

1月のご案内

がん検診
 事前に申し込みが必要です。詳しくは健康カレンダーをご覧ください。

乳・子宮がん検診	とき	ところ	受付時間
	1月30日(日)	霞の郷	8:30~10:20

健康長寿課 ☎50-3040

ポリオワクチン投与
 生後3カ月以上7歳6カ月未満で、接種が終了していない人が対象です。
 とき 1月13日(木) 13:30~14:30
 ところ 春江保健センター
 健康長寿課 ☎50-3067

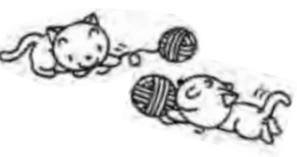
健康づくりグループを紹介します
 るんるんダンベルの会
 ダンベル体操やウォーキング、料理などを楽しんでいます。手軽にできる体操で、筋力アップしながら余分な脂肪を燃やしましょう。
 とき 第2・4木曜日 10:00~11:00
 ところ 坂井健康センター
 ※内容によって、会場を変更することがあります
 健康長寿課 ☎50-3040



▲見学・体験はいつでもどうぞ

マミー教室(妊婦教室)【予約制】
 妊娠5カ月以降のお母さんとその家族が対象です。希望する人は電話でお申し込みください。(託児あり)
 とき 1月23日(日)受付10:00~
 ところ 三国保健センター
 健康長寿課 ☎50-3067

子育て支援センターからの
 お知らせ



子育てQ & A

- Q. テレビに近づいて見るのが気になります。
- A. 視力が発達途上の子どもは、見えている範囲が狭いので、テレビが見えるところまで近づいてしまうのでしょう。それが視力の発達に影響を及ぼすことはまずありません。でも、目を細めて見る、さらに顔を近づけたり傾けたりして見るなど、気になる様子があれば眼科を受診しましょう。

支援センター利用のご案内

支援センター名	センターの利用時間	相談時間
三国丸岡春江坂井	9:00~15:00 (月~金曜日)	8:30~17:15 (月~金曜日)

保健師・栄養士の相談日

とき	ところ
1月12日(水)10:30~11:30	坂井子育て支援センター
1月13日(木)10:30~11:30	春江みどり保育園
1月25日(火)10:30~11:30	丸岡子育て支援センター
1月25日(火)10:30~11:30	三国子育て支援センター

問い合わせ先

- 三国子育て支援センター ☎81-6550
 丸岡子育て支援センター ☎67-4157
 春江子育て支援センター ☎51-9644
 (春江北保育所内)
 坂井子育て支援センター ☎68-4188

※詳しくは各支援センターへお問い合わせください

年末年始のご案内 詳しくは各施設にお問い合わせください

市役所・保健センターなど

文化施設

体育施設

温泉施設

	12月							1月							空白…通常どおり ●…休日 ▲…利用者がある場合、開館 ■…通常営業と変更
	25日 土	26日 日	27日 月	28日 火	29日 水	30日 木	31日 金	1日 土・祝	2日 日	3日 月	4日 火	5日 水	6日 木	7日 金	
市役所 (本庁・各総合支所)	●	●			●	●	●	●	●	●					本庁☎66-1500 各総合支所(三国☎82-3111、丸岡☎68-0800、春江☎51-1100) ※市役所は閉庁しますが、出生や死亡など戸籍届出は休日直者が受け付けます
丸岡総合福祉保健センター、春江保健センター、坂井健康センター	●	●			●	●	●	●	●	●					丸岡総合福祉保健センター☎68-5051 春江保健センター☎51-5787 坂井健康センター☎50-3067
公民館			▲	▲	●	●	●	●	●	●	▲				詳しくは、各公民館まで
児童館		●			●	●	●	●	●	●					詳しくは、各児童館まで
青少年愛護センター					●	●	●	●	●	●					☎51-9410
図書館全館	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				みくに☎81-2900 まるおか☎67-1500 はるえ☎51-8810 さかい☎67-2666
子育て支援センター	●	●			●	●	●	●	●	●					三国☎81-6550 丸岡☎67-4157 春江☎51-9644 坂井☎68-4188
ぐるっと坂井 (コミュニティバス)	●	●			●	●	●	●	●	●					市民生活課☎50-3030
三国病院 (小児科)		●			9:00 ~ 11:00	9:00 ~ 11:00	9:00 ~ 11:00	9:00 ~ 11:00	9:00 ~ 11:00	9:00 ~ 11:00					☎82-0480 【小児科】年末年始期間の9:00~11:00は小児科医が対応します
赤坂聖苑								●							☎67-5300
代官山斎苑								●							☎81-9777
いねず(交流センター直売所) (味処けやき)							~15:00	●	●	●	●	●			☎72-7600(代表)
ユorium春江				●	●	●	●	●	●	●	●	●			☎58-0100
みくに龍翔館				●	●	●	●	●	●	●	●	●			☎82-5666
ONO MEMORIAL	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	☎81-3556(3月1日まで休館)
みくに文化未来館			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	☎82-7200
旧森田銀行本店			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	☎82-0299
三国湊町家館			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	☎82-8552
旧岸名家住宅			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	☎82-0947
ハートピア春江			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	☎51-8800
丸岡城								無料開放							☎66-0303
丸岡歴史民俗資料館				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	☎66-0303
三国町内体育施設				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	三国体育館☎82-4686
丸岡町内体育施設				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	丸岡体育館☎66-8920
春江町内体育施設				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	春江体育館☎51-4242
坂井町内体育施設				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	坂井体育館☎68-0123
三国運動公園屋内温水プール				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	☎82-8833 網掛け部分は10:00~18:00
丸岡B&G海洋センター				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	☎67-4646(プール)
丸岡フィットネスセンター				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	☎66-5665(フィットネス)
三国温泉ゆあぽ〜と							~17:00	●							☎82-7070
霞の郷温泉								8:00 ~ 24:00	8:00 ~ 24:00	8:00 ~ 24:00	8:00 ~ 24:00				☎68-5050 1月1日~4日は早朝営業
余熱館ささおか								●	●	●	●	●	●	●	☎74-2221

ごみ収集日

	12月							1月							●環境推進課☎50-3032
	25日 土	26日 日	27日 月	28日 火	29日 水	30日 木	31日 金	1日 土・祝	2日 日	3日 月	4日 火	5日 水	6日 木	7日 金	
ごみ															・可…もやせるごみ 不…もやせないごみ ●は休止、休業日 ・「粗大」は一般家庭の粗大ごみの受入 ・■で示したところは、通常と変わるもの ※年末の大掃除や正月などで、家庭から出るごみが多くなる時期です。今一度、ごみカレンダーで「もやせるごみ」「もやせないごみ」「資源またはプラごみ」が出せる日の確認をお願いします
三国			可				可					不	可		
丸岡				可			可				可・不		可		
春江				可			可				可		可		
坂井				可			可				可	不	可		
空き缶等自動回収機					~17:00	●	●	●	●	●	●	9:00~			
清掃センター(☎74-1314)	●	粗大					●	●	●	●	●				
環境衛生組合(☎72-2200)	●	●		~16:00	●	●	●	●	●	●	●	10:00~			

新聞 雑誌 ダンボール 持込大歓迎!!

事業所、一般の方歓迎
子供会、町内会、婦人会等の団体様の資源回収も承ります。
お気軽にお問い合わせください。
(お問い合わせ番号)
TEL. 0776-35-3455

清水紙料株式会社
坂井市坂井町長畑16字10番 TEL.0776-43-3688

12月28日(火)~1月5日(水) 福井県HACCP認証店

年末年始期間限定 **特別メニュー** 早期ご予約受付中

商品をお3,500円以上ご注文いただき、お引き取りにいらした方に **500円進呈** (小箱は300円進呈)

大箱を返却していただいた方に、さらに **500円進呈** (小箱は300円進呈)

1,000円もお得です!!

丸岡商品は全商品にお吸い物付き!!!
全商品寿司桶使用!!!

江戸寿司 丸岡店 (南エリアサービス)
営業時間 9:00~19:30
注文受付時間 8:30~19:30
☎0120-67-7060 丸岡町北橋地40-17-9 TEL.67-7000 FAX.67-7071

坂井チャンネル 1月の番組案内

地デジ 092ch
アナログ 29ch

番組についての問い合わせは、秘書広報課まで。
☎50-3012
✉kouhou@city.fukui-sakai.lg.jp

タイトル	開始時間
赤ちゃん・お梅やみ・行政情報	7:00, 10:00, 13:00, 16:00, 19:00
市長年頭あいさつ(1/1~1/4のみ)	7:25, 10:25, 13:25, 16:25, 19:25
坂井市ニュース	
ふれんずTV	7:35, 10:35, 13:35, 16:35, 19:35
1日~14日 丸岡柔道スポーツ少年団編	
15日~31日 未定	
映像玉手箱	7:45, 10:45, 13:45, 16:45, 19:45
1日~31日 まるおか子供歌舞伎第10回公演 舞踊 長唄「君が代 松竹梅」 歌舞伎「仮名出手本忠臣蔵」3・5・7段目	
三国競艇ミニ情報	22:00 ※放送終了後より翌朝7時まで放送休止

<お知らせ>1月の坂井チャンネルは、特別編成にて放送します。

休日診療

診療時間 9:00~17:00 問 嶺北消防本部 ☎51-0119

月日	科	内科	外科
1月1日(土・祝)	宮崎病院(三国町)	☎82-1002	加納病院(あわら市) ☎73-0259
2日(日)	加納病院(あわら市)	☎73-0259	春江病院(春江町) ☎51-0029
3日(月)	国立あわら病院(あわら市)	☎79-1211	宮崎病院(三国町) ☎82-1002
9日(日)	金津産婦人科クリニック(あわら市)	☎73-3800	加納病院(あわら市) ☎73-0259
10日(月・祝)	木村病院(あわら市)	☎73-3323	三国病院(三国町) ☎82-0480
16日(日)	奥村医院(あわら市)	☎73-0171	加納病院(あわら市) ☎73-0259
23日(日)	大野内科消化器科医院(春江町)	☎51-8170	春日レディスクリニック(春江町) ☎51-6080
30日(日)	加納病院(あわら市)	☎73-0259	豊田内科医院(春江町) ☎51-8181
	汐見医院(あわら市)	☎73-0040	友田医院(春江町) ☎51-0343
	春江病院(春江町)	☎51-0029	

三国競艇 開催のご案内

レース結果 配当金

☎0180-997788(2連勝)
☎0180-997722(3連勝)
http://www.mikuni.gr.jp/

1月1日(土)~4日(火)	第37回初夢賞
1月8日(土)~12日(水)	第13回水仙花賞
1月14日(金)~17日(月)	G1近松賞(尼崎場外)
1月22日(土)~27日(木)	三国レディースカップ
1月22日(土)・23日(日)	G1徳山クラウン争奪戦(徳山場外)
1月25日(火)~27日(木)	G1宮島新鋭王座決定戦(外向発売)
1月28日(金)~30日(日)	G1宮島新鋭王座決定戦(宮島場外)

— 厳粛さを演出する儀式空間 — **アスピカホール**

三国 坂井市三国町覚善5-41-1 TEL(0776) 82-7120

丸岡 坂井市丸岡町一本田中31-9-1 TEL(0776) 67-6600

あわら あわら市東善寺9-53 TEL(0776) 73-8900

森田 福井市八重巻町301 TEL(0776) 56-8600

どこよりも感謝の心を大切にする企業へ…
株式会社 **アスピカ はくれん事業部** 福井本部 ●福井市二の宮4-18-8 TEL(0776) 25-8933

はくれん 検索

「ふれんず」は坂井チャンネルでもご覧いただけます！
 今回の内容は、12/15(水)～1/14(金)まで放送します。
 お楽しみに！ ☎秘書広報課 ☎50-3012

逃げない「心」を育てる 「二本」にこだわる柔道



練習中でも容赦なし——お互いに声を出して士気を高め、組み合う

「アイトーツ」。甲高い掛け声が道場に響く。畳に上

がれば、男女も歳も関係ない。真つ向から相手に立ち向かう子どもたち。それが「丸岡柔道スポーツ少年団」だ。発足は昭和44年。道場に掲げた「邁進」という言葉に導かれるように、ここで柔道に突き進んだ多くの先輩がインターハイや国体などで活躍している。

目先の勝負にはこだわらない。同団は、一貫して礼儀や基本を重んじる。「結果でなく過程。正々堂々攻める柔道、「二本」にかける心意気を教えたい」と、高島代表兼監督は話す。

1時間余りの練習で、準備運動から打ち込み、乱取りまでを目まぐるしく行う。土日を利用して県内外のチームと練習するときもある。見学で柔道にほれ込んだという長谷川水紀さん(磯部小6年)は、「知らない相手にいつ技をかけるか考えるのも練習。相手がどんな練習をしているのか見るも

の練習」と前向きだ。最近急速に力をつけている畔田龍一さん(長畝小6年)は「将来の夢はオリンピック選手」と言葉に力を込める。

ここ一番のとき、それまでに何をしたら自分を質すことで心が育つ。どんな壁も乗り越えられる心——柔道に打ち込むことでそれを自然と学んでいる仲間たちだ。

丸岡柔道スポーツ少年団



メンバー 28人
 代表 高島 学さん (丸岡町猪爪新3区)
 コメント 「練習は毎週水・金曜日、丸岡武道館で19時から。年齢に応じた指導をしています。学年を超えても仲がいいので、気軽に見学に来てください」
 代表連絡先 ☎66-2254

純な旅



立場は違っても、人は鏡。私がキミだったかもしれない。キミが私だったかもしれない。そう思えば許せる気がする。ただ一言、欲しかっただけなのかも。(丸岡町楽間)

編集後記

▼三国温泉カニまつりでの話。飛ぶように「越前がに」が売れていくさまを見ると、景気の悪さもどこ吹く風。しかし自分には1杯500円のセイコガニ汁が精いっぱいでした。木枯らしが身にしみる時期ですね。(杉) ▼春高バレー県代表決定戦で、3年生不在のわが校は強豪相手に大苦戦。そんな中、「控え」のわが子は試合中断のたびにコートへ。一人でモップ掛けする姿に、朝練のネットを張ろうと、毎日誰よりも早く登校した彼の中学時代を思い出しました。(純)

平成22年12月9日

発行 坂井市 編集 秘書広報課

〒919-0592 福井県坂井市坂井町下新庄第1号1番地
 TEL 0776-66-1500(代) FAX 0776-66-4837
 URL http://www.city.fukui-sakai.jp/
 E-mail kounou@city.fukui-sakai.jp